

2025 年 7 月 18 日

SUBARU 新型バッテリーEV「アンチャーテッド」を世界初公開

SUBARU は、米国ニューヨークにて新型「アンチャーテッド」を世界初公開しました(米国仕様車)。



新型「アンチャーテッド」(米国仕様車)

SUBARU グローバルバッテリーEV ラインアップの第 3 弾となる新型「アンチャーテッド」は、コンパクトなサイズながら、バッテリーEV ならではの走行性能と、使い勝手や取り回しの良さといった実用性を兼ね備えた、多様なお客様のライフスタイルに応える SUV です。

「アンチャーテッド(UNCHARTED)」という車名は、「地図に載っていない、未知の」を意味し、行ったことのない場所へも気軽に出かけ、自分の世界を広げてほしいという想いを込めています。

エクステリアデザインは、クリーンでシームレスなフロントフェイス、ハイコントラストで凝縮された塊感のあるボディによって、先進性やスポーティさ、さらにアクティブでタフなイメージを表現しました。インテリアデザインは、インパネまわりの造形をすっきりとした横基調とし、開放的で居心地のよい空間を表現。さらに、アンチャーテッド専用のオレンジ色の加飾を施しました。

電池・充電性能では、74.7kWh の大容量リチウムイオンバッテリーを採用し、FWD モデルでは約 300 マイル以上*1、AWD モデルでは約 280 マイル以上*1 の航続距離を確保しました。また、バッテリープレコンディショニング*2 を採用し、バッテリーを充電に最適な温度とすることで、充電量 10%から 80%までの急速充電時間を約 30 分*3 としました。さらに、ソルテラ改良モデルと新型トレイルシーカーに続き、充電ポートに北米充電規格(North American Charging Standard)を採用しました。

走行性能では、高出力モーター*4を採用することで、バッテリーEV ならではの、レスポンスよくトルクを発生させるモーター特性を活かした、リニアで伸びのある加速を提供します。また、SUBARU が培ってきた技術を活かしたサスペンション、電動パワーステアリングのセッティングや、新たな AWD 制御の採用により、ドライバーがより意のままに操ることができる走りを実現しました。

使い勝手では、ソルテラに対して全長を約 170mm 短くすることで、取り回しのよいボディサイズとしながらも、十分な荷室容量を確保しました。

新型アンチャーテッドは、トヨタと SUBARU が、「もっといいクルマづくり」を目指して、互いに強みとする技術や知見を持ち寄り、両社のエンジニアが切磋琢磨しながら共同開発し、2026 年に米国市場での導入を予定しています。

SUBARU は、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、電動化などの様々な取り組みを加速させていきます。

*1: 開発時における試算値(米国仕様)。実際には、使用環境(天候、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)などによって航続距離が異なります。

*2: 急速充電の前にバッテリー本体の温度を調整する機能。

*3: -10°Cの環境下において、150kW 急速充電器での充電時間(開発時における試算値)。周辺の環境温度、バッテリー温度などによって充電時間が異なります。

*4: システム最大出力は、FWD モデルは 221 馬力、AWD モデルは 338 馬力(開発時における試算値)。